第２回　沖縄市女子サッカーサマーフェスティバル

実施ガイドライン

１、目的

第２回サッカーサマーフェスティバルを開催するにあたり新型コロナウィルス感染症対策に関して、主催者が参加者に対して感染予防の対策の徹底を継続的に促すことにより安全に大会の運営ができることを目的とする。

２，適用期間

令和４年７月 30 日～令和４年７月 31 日

＊新型コロナウィルス感染の広がりや、新型コロナウィルスに関する国や県の指針等を踏まえ、段階的に本ガイドライン見直すものとする。

３，当面の大会参加および開催の可否判断基準の目安

当面の間は、緊急事態措置時の国や県の対応について（スポーツイベント開催・実施時のコロナウィルス感染症拡大防止ガイドライン）に準拠し、以下の基準を参加および開催可否の目安とする。

開催前１０日以内に参加者（選手・審判等関係者含む）から感染者が出た場合

（１）　当該チームまたは、感染した審判員、関係者の参加を認めない。

（２）　該当チームが複数の場合は大会の開催中止、延期を検討、協議する。

濃厚接触者と判明した者が確認された場合

（１）１０日以内の濃厚接触者であることが判明した者は参加を認めない。

４，開催実施について

①　３蜜（密閉。密集・密接）を可能な限り作らない環境をつくる。

②　参加を予定している者（選手・関係者）において、発熱、咳、倦怠感、頭痛、味覚所外、その他体調不良がある場合は参加を認めない

③ 競技場に入る前にアルコール消毒、検温、体調に関する問診行い同意書を提出する、また参加者においては自宅でも検温を行うことを周知徹底する。当日自宅を出る際や会場入り口検温で 37.5 度以上ある者の入場を認めない

④ 会場へは登録選手、監督、コーチ、審判員、大会役員以外の入場は不可とする。

⑤ 無観客での開催とする。

⑥ 各チーム選手、審判員、大会関係者の連絡先を把握し、緊急連絡体制を整える。

⑦ 参加予定者は１４日以内の沖縄本島からの移動があった場合は参加を認めない。
また 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合も参加を認めない。

⑧ 新型コロナウィルス感染状況が悪化し開催が困難と判断された場合は大会の中止または延期とする。

5，大会当日に関すること

① 試合の前後に手洗い、消毒を十分に行い、使用する備品についても試合前後に消毒を行う。

② マイボトルを準備し、飲水容器、飲料水の共有はしない。

③ 試合前後に選手同士、関係者同士の握手などの接触は禁止とする。

④ 試合中の選手同士のハイタッチやハグは禁止とする。

⑤ ウォーミングアップの際と試合参加者以外は常にマスクを装着する。

6，感染防止の為の方策

① ベンチ、休憩スペース、トイレ、など各箇所にアルコール消毒液設置する。

② 待機中や試合中のベンチではマスク装着とソーシャルディスタンスを守り、大会終了後は速やかに会場から移動する。

③ 大会において使用した用具や備品などは、アルコール消毒液や次亜塩素酸で消毒する。その際に係る費用は沖縄市スポーツ協会から支弁する

④ 大会２週間前の体調チェックを確実に行い、同意書を提出する

⑤ 大会終了後１０日以内に参加者に感染者が出た場合は関係各位、保健所に速やかに報告する。